

ごあいさつ

今回特集としてお披露目させていただくのは相模屋堀切紋次郎家文書の概要です。キッコーマン株式会社の始まりは、1917（大正6）年に8つの醸造家が合同して設立した野田醤油株式会社です。相模屋堀切紋次郎家はこの合同に参加した醸造家の一つで、現在の千葉県流山市でみりん、酒、しょうゆの醸造業を営んでいました。みりん醸造で広く知られており、とりわけ2代堀切紋次郎が製法を確立したとされる白みりんは、その淡く澄んだ色調で「東名物」として高い評判を得て江戸の料理文化を引き立て、今日の本みりんの礎とも言われています。

キッコーマン国際食文化研究センターでは、2011（平成23）年に堀切家が所蔵していた一連の文書類の寄贈を受け、修復、目録作成、解析を行ってまいりました。ようやくその全貌が見えてまいりましたので、これまでの作業の概要と成果の一部をお届けすることといたしました。今後も作業を続け、数年内には完了する見通しとなっています。関東の近世・近代における醸造業の一端を知るための文書として、今後多くの研究者のみなさまのお役に立つことを願っております。

CONTENTS

特集

- | | |
|------------|------------------------------|
| 3 はじめに | 8 近代文書 |
| 3 堀切家文書の収集 | 12 堀切紋次郎家について |
| 4 堀切家文書の整理 | 18 万上みりん醸造業の開始 |
| 4 堀切家文書の概要 | 25 おわりに |
| 6 近世文書 | 26 (表)流山村における酒造人の変遷および酒造高の推移 |



川根 正教 (かわね まさのり)

(キッコーマン国際食文化研究センター 学芸員)

元流山市立博物館館長、元東京工芸大学非常勤講師。
野田市文化財保護審議会委員、流山市文化財審議会委員。
日本考古学協会会員。